

かずさ水道広域連合企業団
水道事業及び水道用水供給事業業務状況
(令和 7 年度下半期)

令和 7 年 1 0 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

かずさ水道広域連合企業団

目次

総括	1
----	---

第1章 水道事業

第1 事業の概況

(1) 業務の状況	5
-----------	---

(2) 建設改良事業の概要	5
---------------	---

第2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出	6
---------------	---

(2) 資本的収入及び支出	7
---------------	---

第3 令和8年度の予算の概要

(1) 予算の概要	8
-----------	---

(2) 収益的収入及び支出	8
---------------	---

(3) 資本的収入及び支出	9
---------------	---

第2章 水道用水供給事業

第1 事業の概況

(1) 業務の状況	13
-----------	----

(2) 建設改良事業の概要	13
---------------	----

第2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出	14
---------------	----

(2) 資本的収入及び支出	15
---------------	----

第3 令和8年度の予算の概要

(1) 予算の概要	16
-----------	----

(2) 収益的収入及び支出	16
---------------	----

(3) 資本的収入及び支出	17
---------------	----

総括

かずさ水道広域連合企業団は、君津地域の水道事業の効率化を図るため、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市の４市で行っていた水道事業と君津広域水道企業団で行っていた水道用水供給事業を同一の事業体で行うことを目的に創設し、平成３１年４月１日から事業を開始しました。

事業統合を行うことで、技術継承や経営基盤強化を図り、「安心できる かずさの水を次世代へ」を基本理念に、施設整備の水準を高めた持続可能な水道事業の経営を目指しています。

令和７年度においては、国庫補助金の内示額減に伴い、限られた財源の中で事業の優先順位を精査し、必要な整備を推進しました。

水道事業については、経営の効率化を高めるため、施設統廃合事業、重要路線等の老朽管の更新に取り組みました。水道用水供給事業では、安定的な水道用水供給を可能とするため、取り組みが急がれる施設の耐震化を優先的に実施するとともに、能力低下や重大故障の回避を図るための老朽化施設の計画的な更新に取り組みました。

第 1 章

水道事業

第1 事業の概況

(1) 業務の状況

4市における当期の給水戸数は142,555戸で、当期の総配水量は19,603,506m³となりました。

なお、1日平均配水量は107,712m³、1日最大配水量は12月31日に117,314m³を記録し、負荷率は91.82%となりました。

有収水量は16,021,116m³で、有収率は81.73%となりました。

※ 有収水量：配水量のうち漏水量等を除いた水道料金の支払いの対象となる水量

※ 有収率：配水量における有収水量の割合

※ 負荷率：施設の利用度を一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合で測定する指標で、最大需要時と平均需要時の差を示す。（一日平均配水量÷一日最大配水量×100）

業 務 量

区 分	単 位	令和7年度 下半期	令和6年度 下半期	増 減	前年度比 (%)
1 行政区域内人口	人	317,441	319,023	△ 1,582	99.5
2 給水人口	人	314,743	316,220	△ 1,477	99.5
3 給水戸数	戸	142,555	141,276	1,279	100.9
4 配 水 量	期間総量	m ³ 19,603,506	19,520,960	82,546	100.4
5	一日最大	m ³ 117,314	116,898	416	100.4
6	一日平均	m ³ 107,712	107,258	454	100.4
7	一人一日平均	ℓ 342	339	3	100.9
8 有収水量	m ³	16,021,116	16,038,297	△ 17,181	99.9
9 有収率	%	81.73	82.16	△ 0.43	—
10 負荷率	%	91.82	91.75	0.07	—

(2) 建設改良事業の概要

管路更新事業では、優先順位の高い重要路線等の老朽管を更新することにより、将来的な目標達成に向けた有効率の向上を図ることで経営の効率化を高めるとともに、耐震化の向上にもつなげることを目指しています。当期においては、真舟四丁目地先配水管改良工事、長谷川地先配水管更新工事、富津地先配水管更新工事、中袖地先配水管改良工事等を実施しました。

また、施設統廃合事業では、上烏田浄水場配水池等整備DB事業、施設統廃合事業伊豆島配水場配水池等更新工事詳細設計業務委託、施設統廃合事業集中監視設備更新工事（袖ヶ浦市 外）実施設計業務委託を実施し、このほか災害時の停電対策である非常用自家発電設備整備事業では、三直増圧ポンプ場の自家発電設備設置工事を実施しました。

第2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執 行 率 (%)	備 考
	現年度分	繰越額に係る 財源充当額	計				
水 道 事 業 収 益	11,458,678,000	0	11,458,678,000	5,680,680,507	11,235,522,594	98.05	
営 業 収 益	9,885,207,000	0	9,885,207,000	4,985,507,997	9,895,503,885	100.10	
営 業 外 収 益	1,573,471,000	0	1,573,471,000	695,172,510	1,340,014,918	85.16	
特 別 利 益	0	0	0	0	3,791	—	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執 行 率 (%)	備 考
	現年度分	繰越分	計				
水 道 事 業 費 用	10,888,009,000	2,937,000	10,890,946,000	4,735,942,748	10,648,843,269	97.78	
営 業 費 用	10,415,985,000	2,937,000	10,418,922,000	4,495,586,835	10,217,492,785	98.07	
営 業 外 費 用	435,372,000	0	435,372,000	239,482,248	416,223,073	95.60	
特 別 損 失	19,655,000	0	19,655,000	873,665	15,127,411	76.96	
予 備 費	16,997,000	0	16,997,000	0	0	0.00	

(注)

- 1 収入の執行額は調定済額、支出の執行額は支出負担行為済額の金額を表記しています。
- 2 年間執行額には、前年度繰越分を含みます。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執行率 (%)	備 考
	現年度分	繰越額に係る 財 源 充 当 額	計				
資 本 的 収 入	10,779,459,000	11,729,000	10,791,188,000	2,535,656,250	2,546,771,255	23.60	
企 業 債	6,381,200,000	0	6,381,200,000	1,746,500,000	1,746,500,000	27.37	
出 資 金	1,564,809,000	0	1,564,809,000	355,600,000	355,600,000	22.72	
国庫補助金	2,604,669,000	11,729,000	2,616,398,000	367,795,000	367,795,000	14.06	
他会計補助金	15,588,000	0	15,588,000	7,794,105	15,588,210	100.01	
負 担 金	213,193,000	0	213,193,000	57,967,145	61,288,045	28.75	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執行率 (%)	備 考
	現年度分	繰 越 分	計				
資 本 的 支 出	14,910,087,000	242,187,000	15,152,274,000	927,522,377	5,719,529,489	37.75	翌年度繰越額 8,146,695,300円
建 設 改 良 費	12,992,585,000	242,187,000	13,234,772,000	1,394,553	3,874,592,604	29.28	翌年度繰越額 8,146,695,300円
企業債償還金	1,897,300,000	0	1,897,300,000	925,926,524	1,844,735,585	97.23	
工事負担金 返 還 金	202,000	0	202,000	201,300	201,300	99.65	
予 備 費	20,000,000	0	20,000,000	0	0	0.00	

(注)

- 1 収入の執行額は調定済額、支出の執行額は支出負担行為済額の金額を表記しています。
- 2 年間執行額には、前年度繰越分を含みます。

第3 令和8年度の予算の概要

(1) 予算の概要

令和8年度当初予算は、「君津地域水道事業統合広域化基本計画」及び「かずさ水道広域連合企業団広域連合ビジョン」に掲げる施設整備水準の改善を、国の交付金措置の状況を見極めつつ、着実に推進していくための事業費を計上しました。

国庫補助金を最大限活用し、国の進める国土強靱化対策等に資するよう令和8年度に予定していた事業の多くを令和7年度予算に前倒すことにより、令和7年度補正予算(第2号)と令和8年度当初予算を一体とした予算編成となっています。

(2) 収益的収入及び支出

収 入 (単位：千円、税込み)

区 分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比 較 増 減
水 道 事 業 収 益	11,516,744	11,458,678	58,066
営 業 収 益	9,950,603	9,885,207	65,396
営 業 外 収 益	1,566,141	1,573,471	△ 7,330

支 出 (単位：千円、税込み)

区 分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比 較 増 減
水 道 事 業 費 用	11,845,609	10,788,626	1,056,983
営 業 費 用	11,337,722	10,379,018	958,704
営 業 外 費 用	475,727	377,338	98,389
特 別 損 失	12,160	12,270	△ 110
予 備 費	20,000	20,000	0

収入は微増となるものの、支出では水道用水供給事業の料金改定や受水量の増加による原水及び浄水費の増に加え、経費全般において物価高騰や労務単価の上昇の影響はまだ続いており、純損益は前年度比で7億5,800万円減となる5億2,100万円の赤字を見込んでいます。

(3) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円、税込み)

区 分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比 較 増 減
資 本 的 収 入	1,940,504	6,218,264	△ 4,277,760
企 業 債	1,440,500	3,763,100	△ 2,322,600
出 資 金	0	745,209	△ 745,209
国 庫 補 助 金	392,342	1,554,984	△ 1,162,642
他 会 計 補 助 金	15,714	15,588	126
負 担 金	91,948	139,383	△ 47,435

支 出

(単位：千円、税込み)

区 分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比 較 増 減
資 本 的 支 出	5,111,062	9,964,671	△ 4,853,609
建 設 改 良 費	3,187,309	8,047,371	△ 4,860,062
企業債償還金	1,903,753	1,897,300	6,453
予 備 費	20,000	20,000	0

国の補正予算による国庫補助金を最大限に活用するため、令和8年度に予定した事業の多くを前倒し令和7年度補正予算に計上したため、令和8年度予算の規模が前年度に比べ小さくなります。

令和8年度当初予算と令和7年度補正予算（第2号）を合算した規模を、令和7年度当初予算と比較すると、収入では約2億8,300万円、支出では約9,200万円、それぞれ増額となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 3,170,558千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 216,683千円、過年度分損益勘定留保資金 2,374,704千円及び現年度分損益勘定留保資金579,171千円で補てんするものとします。

第 2 章

水道用水供給事業

第1 事業の概況

(1) 業務の状況

令和7年度の年間予定給水量51,572,660^mのうち、当期予定は26,839,810^m、実際の給水量は26,819,422^mとなったため、供給実績は99.92%でした。

なお、1日平均給水量は147,359^m、1日最大給水量は12月31日に158,326^mを記録し、負荷率は93.07%となりました。

※ 有収水量（給水量）：送水量のうち漏水量等を除いた給水料金の支払いの対象となる水量

※ 有収率：送水量における有収水量の割合

※ 負荷率：施設の利用度を一日最大給水量に対する一日平均給水量の割合で測定する指標で、最大需要時と平均需要時の差を示す。（一日平均給水量÷一日最大給水量×100）

業 務 量

区 分		単 位	令和 7 年度 下 半 期	令和 6 年度 下 半 期	増 減	前年度比 (%)	
1	取 水 量		m ³	27, 226, 767	26, 035, 296	1, 191, 471	104. 6
2	送 水 量		m ³	26, 854, 173	25, 751, 749	1, 102, 424	104. 3
3	有収水量（給水量）		m ³	26, 819, 422	25, 672, 269	1, 147, 153	104. 5
4	構 成 団 体 別 内 訳	千 葉 県	m ³	10, 312, 394	9, 303, 508	1, 008, 886	110. 8
5		木 更 津 市	m ³	7, 178, 884	7, 131, 427	47, 457	100. 7
6		君 津 市	m ³	3, 635, 193	3, 688, 933	△ 53, 740	98. 5
7		富 津 市	m ³	2, 469, 078	2, 539, 086	△ 70, 008	97. 2
8		袖 ケ 浦 市	m ³	3, 223, 873	3, 009, 315	214, 558	107. 1
9	一 日 平 均 給 水 量		m ³	147, 359	141, 056	6, 303	104. 5
10	一 日 最 大 給 水 量		m ³	158, 326	155, 244	3, 082	102. 0
11	有 収 率		%	99. 87	99. 69	0. 18	—
12	負 荷 率		%	93. 07	90. 86	2. 21	—

(2) 建設改良事業の概要

本年度の建設改良事業は主に、送水施設耐震化及び更新工事を実施しており、当期につきましては、大寺浄水場トリハロメタン計更新工事、南部調整池CVC装置更新工事、上烏田浄水場配水池等整備DB事業等を実施しました。

第2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執 行 率 (%)	備 考
	現年度分	繰越額に係る 財源充当額	計				
水 道 事 業 収 益	6,400,156,000	0	6,400,156,000	3,279,150,381	6,869,845,157	107.34	
営 業 収 益	6,160,169,000	0	6,160,169,000	3,105,126,156	6,156,425,605	99.94	
営 業 外 収 益	239,987,000	0	239,987,000	174,024,225	291,449,552	121.44	
特 別 利 益	0	0	0	0	421,970,000	—	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執 行 率 (%)	備 考
	現年度分	繰越分	計				
水 道 事 業 費 用	6,972,505,000	6,006,000	6,978,511,000	2,635,001,677	6,646,852,163	95.25	翌年度繰越額 73,634,000円
営 業 費 用	6,721,736,000	6,006,000	6,727,742,000	2,423,008,025	6,408,193,391	95.25	翌年度繰越額 73,634,000円
営 業 外 費 用	241,769,000	0	241,769,000	211,993,652	238,658,772	98.71	
予 備 費	9,000,000	0	9,000,000	0	0	0.00	

(注)

- 1 収入の執行額は調定済額、支出の執行額は支出負担行為済額の金額を表記しています。
- 2 年間執行額には、前年度繰越分を含みます。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執行率 (%)	備 考
	現年度分	繰越額に係る 財 源 充 当 額	計				
資本的収入	1,751,539,000	220,000,000	1,971,539,000	554,535,000	554,535,000	28.13	
企 業 債	1,247,800,000	220,000,000	1,467,800,000	451,100,000	451,100,000	30.73	
出 資 金	42,000,000	0	42,000,000	4,100,000	4,100,000	9.76	
国庫補助金	461,739,000	0	461,739,000	99,335,000	99,335,000	21.51	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執行率 (%)	備 考
	現年度分	繰 越 分	計				
資本的支出	3,653,618,000	300,531,000	3,954,149,000	320,911,671	2,157,442,957	54.56	翌年度繰越額 1,397,061,000円
建設改良費	2,953,878,000	300,531,000	3,254,409,000	△ 10,804,635	1,496,022,535	45.97	翌年度繰越額 1,397,061,000円
企業債償還金	694,740,000	0	694,740,000	331,716,306	661,420,422	95.20	
予 備 費	5,000,000	0	5,000,000	0	0	0.00	

(注)

- 1 収入の執行額は調定済額、支出の執行額は支出負担行為済額の金額を表記しています。
- 2 年間執行額には、前年度繰越分を含みます。

第3 令和8年度の予算の概要

(1) 予算の概要

令和8年度当初予算は、令和7年度に策定した「第12次長期水需給計画」「第5次施設整備計画」「第7次財政収支計画」の3計画に基づき計上しました。

取り組みが急がれる施設の耐震化を推進するとともに、供給能力の低下や重大故障を回避するため老朽化施設の更新等を実施する予定です。

(2) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円、税込み)

区 分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比 較 増 減
水道事業収益	7,213,007	6,400,156	812,851
営業収益	6,965,232	6,160,169	805,063
営業外収益	247,775	239,987	7,788

支 出

(単位：千円、税込み)

区 分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比 較 増 減
水道事業費用	7,627,472	6,972,505	654,967
営業費用	7,370,549	6,745,795	624,754
営業外費用	247,923	217,710	30,213
予 備 費	9,000	9,000	0

収入では、料金改定により給水料金が増加し約8億1千万円増となるが、支出では千葉県との共同施設である亀山ダムの堆砂撤去に係る事業負担金の増加や、令和7年度からの継続工事となる大規模修繕（南部調整池1号池修繕工事）を実施することにより、原水及び浄水費や送水費が大幅増となり、純損益は前年度から1億5,800万円改善し4億6,700万円の赤字を見込んでいます。

(3) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円、税込み)

区 分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比 較 増 減
資 本 的 収 入	417,018	477,464	△ 60,446
企 業 債	358,400	280,000	78,400
出 資 金	18,300	32,200	△ 13,900
国 庫 補 助 金	40,318	165,264	△ 124,946

支 出

(単位：千円、税込み)

区 分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比 較 増 減
資 本 的 支 出	1,603,629	2,269,414	△ 665,785
建 設 改 良 費	972,022	1,569,674	△ 597,652
企 業 債 償 還 金	626,607	694,740	△ 68,133
予 備 費	5,000	5,000	0

水道事業同様に、令和8年度に予定した事業の多くを前倒し令和7年度補正予算に計上したため、令和8年度予算の規模が前年度に比べ小さくなります。

令和8年度当初予算と令和7年度補正予算（第2号）を合算した規模を、令和7年度当初予算と比較すると、収入では約12億1,400万円、支出では約7億1,600万円それぞれ増額となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1,186,611千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 79,955千円及び過年度分損益勘定留保資金 1,106,656千円で補てんするものとします。